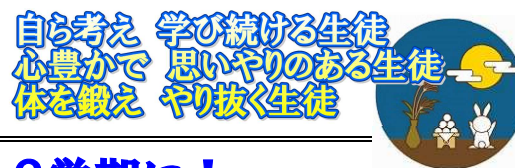




第5号
令和3年
9月1日発行

志高く



「できるように 本気・全力で挑む」2学期に！

— “残されたものを最大限活かす” 深中生の姿を… —

石川 浩

9月1日は防災の日です。1923年9月1日に発生した関東大震災にちなんでのものです。台風の襲来が多いとされる“二百十日”[立春から数えて210日目]にあたり、災害への備えを怠らぬようにとの戒めも込められています。現在備えるべき災害は、地震、集中豪雨等の自然災害だけでなく、火事や交通事故等の人為災害も含め多岐にわたります。また現在全世界に広がっている新型コロナウイルス感染症も、災害の一つです。どの災害についても、その特徴を踏まえどのように対応したらよいかを理解し、適切に対応・行動できるように備え、被害を最小限にすることが大切です。コロナ禍への対応も家庭・地域・学校が連携し、被害を最小限に抑えていきましょう。



昨年、危機管理の面から特に意識しておきたい2つの『9.11』を示しました。1つ目の『9.11』は2001年9月11日にアメリカ合衆国で起きた同時多発テロです。そこから始まったアフガニスタン紛争は、20年にわたり武力による

制圧が試みられましたが、つい先日十分な成果をあげられず幕が下ろされました。武力と異なるアプローチとして改めて注目されているのが、日本人医師・中村哲さんが現地の人々と共に進めた水路づくりです。命を守るために生活を見直し、現地の人たちが自立できる国づくりの支援を続けました。もう1つは9年前の9月11日に深谷市で起きた交通事故です。深中の3年生として皆さんと一緒に学校生活を送っていたはずの命が失われました。今年の9月も、一人一人を支え輝かせる命はエネルギーに溢れるものではあるが儂いものでもあることを、改めて皆さんで考え、それぞれに一つだけ与えられている命を大切にしていきたいです。



今、日本で開催されているパラリンピックは、命の輝きや輝かせ方について考える素晴らしい機会となります。深谷市から3名も、日本の代表として参加しています。また、開会式の中で『片翼の小さな飛行機』の主人公を車椅子で演じた人も、日本チームで最初のメダリストとなった人も、皆さんと同じ中学生でした。パラリンピアンは誰もが様々なハンディキャップを乗り越えて自らを輝かせています。口にラケットをくわえ、サーブは右足でボールを器用にトスアップして打ち込む卓球選手には、本当に驚かされました。私たちがとらわれがちな「どうせ無理」の呪縛を振り払い、どうすれば自分を輝かせるか考え、その技術を直向きに磨き、素晴らしい輝きを放っています。パラリンピックの父と呼ばれるグッドマン博士の言葉『失われたものを数えるな、残されたものを最大限活かせ』をまさに体現していると感じました。

今年の2学期の重点は、1学期に身に付け磨いた「深中生としての構えと形」を活かし、「できるように本気・全力で挑む」とします。緊急事態宣言が発令される状況では、残念ながら実施できないことが少なからずあるでしょう。だからこそ『残されたものを最大限活かす』ことに本気・全力で挑んでいきましょう！今年度の深中生ならではの輝きや挑む姿を見ることを楽しみにしています。

学校総合体育大会県大会・関東大会等

6月に行われた学校総合体育大会地区予選を勝ち抜いた部が、夏休みを中心に開催された県大会に出場しました。また、県大会を勝ち上がり関東大会に出場した部もありました。



《県大会出場チーム・個人の成績・結果》

- 【バレー男子】ベスト8 → 関東大会出場校決定トーナメントを勝ち抜き関東大会出場 **関東ベスト16**
- 【ソフト】ベスト8
- 【バスケット男子】初戦惜敗
- 【ラグビー】初戦惜敗
- 【剣道男子】[団体戦] 初戦惜敗 [個人戦] 中村 ベスト 32
- 【剣道女子】[個人戦] 塚越 初戦惜敗
- 【柔道男子】[団体戦] 初戦惜敗 [個人戦] 新井 ベスト 16・香川 初戦惜敗
- 【柔道女子】[団体戦] 初戦惜敗 [個人戦] 森 ベスト 16・田村ベスト 16・新井 初戦惜敗
- 【水泳】倉澤 400m・200m フリー…標準記録突破し **関東大会出場**
- 【陸上競技】1年好 800m 鈴木 予選惜敗
- 【吹奏楽部】マーチングコンテスト銅賞… **西関東大会出場**



9月の主な行事予定

日	曜日	主な学校行事	16	木	
1	水	3年第1回実力テスト及び2年夏休明けテスト1日目 ↑	17	金	
2	木	3年第1回実力テスト及び2年夏休明けテスト2日目	18	土	
3	金	※文化発表会は延期[期日未定]	19	日	
4	土	※9/1~10 午前中4時間+給食の短縮授業	20	月	敬老の日
5	日	部活動は平日のみ週2日以内で実施[実施日は各部]	21	火	※3年生修学旅行は中止
6	月	SUL	22	水	新人陸上地区予選 部長会 SUL 安全点検日
7	火	2・3年学年朝会	23	木	秋分の日
8	水	登校指導・7月缶回収 ※iPad自宅での通信確認	24	金	
9	木	1年学年朝会	25	土	
10	金		26	日	
11	土	※体育祭は延期[実施方法・期日等は検討中]	27	月	SUL
12	日		28	火	生徒朝会[新人戦地区予選壮行会] 第2回学校運営協議会
13	月	※通常日課に戻る予定[但し感染状況等による]	29	水	部活動あり SUL
14	火		30	木	新人スポーツ大会地区予選中心日[10/2まで] 給食なし
15	水				

1学期を振り返って

7月20日の1学期終業式の中で、各学年の代表が、1学期を振り返るとともに夏休みへの決意を語ってくれました。その一部を紹介します。

柴田 歩実さん

1年1組



中学校生活のスタートとなった1学期で特に印象に残ったのは、部活動と定期テストです。部活動では先輩との接し方や朝練など初めて経験することがたくさんありました。できなかったことや注意されても直せなかったところがあったので、夏休み中に改善していきたいです。定期テストでは、テスト勉強の計画を立てるところからテストが返された後の復習まで、自分の責任でやるのがとても大変でした。2学期は1学期の反省を活かして取り組みたいです。また、学年委員としては、授業に集中して取り組めていなかったため、ノート改革月間を設け、ノートを充実させることで意欲的に授業に取り組むようにしました。友達のよいノートを参考にして自分からも積極的に取り組む人が増えました。自分で考え積極的に発言することが少ないなど新たな課題もわかってきました。2学期は、1学期の反省をしっかりといかしていききたいと思います。

浜野 真輔さん

2年1組



2年目の中学校生活が休校や分散登校でなく、例年どおりに始まったことが嬉しかったです。新しいクラスメイトとも親しく、誰とでも話せるようになってきました。ところが、そのことが日常生活の乱れにつながってしまいました。そこで、学年委員会で『日常生活の質向上キャンペーン』を行い、学年全員で意識すべきことを明確にして生活の乱れを改善していききました。2学期以降も質の高い日常生活を維持するために、班長や生活委員とも協力して、高いレベルの当たり前を維持していきたいです。部活動では、学総大会が実施でき県大会にも出場できてとても嬉しかったです。強い深中男子バスケット部を引き継いでいけるよう、部員全員が全力で日々の練習に励みチームの目標を達成していきたいです。最後に勉強です。2年生になって自分の弱点や各教科の勉強の仕方が何となくつかめたので、自分と向き合い今何をすべきかを考えて、効率的に時間を使えるようにしていきたいです。クラス・部活動・勉強の3つをよりよくできる2学期にするよう頑張ります。

大淵 敏明さん

3年1組



最上級生として迎えたこの1学期、心に残ったことが3つあります。1つ目は部活動です。中学校最後の大会となる学総が今年度は開催されました。各部とも限られた時間の中で、3年生が中心となり一生懸命練習しました。1つの目標に向け仲間と協力し努力する大切さを学べました。最後の試合に敗れた悔しさはありますが、部活動は最高の思い出です。2つ目は修学旅行です。予定されていた6月から延期されましたが、実行委員会の活動が始まりました。2年生の時から準備してきたので、最高の思い出を残せるようにしたいです。最後は、受験生になったことです。昨年度はそれほど自覚はなかったのですが、3年生になり、進路説明会に参加したり学年集会で先生方から具体的なお話をうかがったりして、受験生になったという自覚が一気にわいてきました。同時に、受験生としての戦いが既に始まっているという焦りも感じます。明日から始まる夏休みは、僕たち受験生にとって『勝負の夏』です。希望進路を実現できるよう、強い覚悟をもって勉強に向き合っていきます。『受験は団体戦』という言葉に胸に刻み、赤学年みんなで切磋琢磨していきたいです。

2学期に向けて

8月27日の2学期始業式の中で、各学年の代表が、1学期と夏休みを振り返るとともに2学期への決意を語ってくれました。その一部を紹介します。

今井 翔太さん

1年2組



私たち1年生にとって初めてだらけの1学期と夏休みを終え、新たな気持ちで2学期を迎えるに当たり、特に頑張りたいことが2つあります。1つ目は、定期テストに向けた学習です。自分に合った学習の進め方を工夫して、成績アップを目指したいです。また、テスト期間だけでなく、普段の自主学習でその日の授業の振り返りをしたり、時間の使い方を意識したりしていきたいです。2つ目は、体育祭などの行事です。私は学級委員として1学期に学んだことを生かし、行事でもクラスを引っ張っていききたいです。また、運動が得意、不得意に関係なく、クラスの仲間一人一人が持っている力を発揮し、団結力をさらに高めたいです。2学期も『1人じゃない、みんながいるから大丈夫』を合い言葉に、行事も『協力』を第一に取り組んでいきます。1学期に学年委員会が企画・実施したしキャンペンなどで、各クラスの成果と課題がはっきりしました。そこで、2学期は各クラスで1学期の成果を生かして課題を改善し、1学年全員がより充実した学校生活を送れるようにしたいと思っています。

横山 穂さん

2年2組



長い夏休みを終え中学校生活の後半に入っていくに当たり、よりよい学校生活を送るために意識して取り組みたいことが2つあります。1つ目は、健康に気をつけて生活することです。4度目の緊急事態宣言が発令され、授業や部活動、学校行事などが予定どおりにできない状況です。改めて感染症対策を見直し、手洗い・消毒・マスクの徹底はもちろん、休日の過ごし方にも気をつけていきます。規則正しい生活を意識して体調を整えて学校生活を送ります。2つ目は、責任感をもつことです。「言うは易く行うは難し」ですが、誰もがリーダーの視点をもって行動することで、よりよい環境を創れると思います。まず深中三大行事を、人任せにせず緑学年全体で成功させて自信をつけたいです。3年生が引退した部活動では、2年生がリードして部をまとめなければなりません。そのためには、準備や片付け、挨拶などで手本となる行動をとっていきます。学習では来年度の受験を見据え、将来の自分への責任を果たせるようにします。3年生になって焦らないように、しっかり目標をもち着実に努力を重ねていきます。一番長く中身の濃いこの2学期に、言葉と行動に責任をもち、後輩からも先輩からも信頼されるよう心がけることで、より善い自分たちを創っていきます。

古市 駿介さん

3年2組



「受験生にとって勝負の夏休み」と言われて臨んだ夏休みが終わりました。しかし、37日間という膨大な時間を上手く活用し受験勉強に勢いをつけるというのは簡単なことではありませんでした。そうは言っても、ネガティブに受け止めるばかりではいけません。この夏休みに僕たちが学んだことは、これからの2学期に必ず活かせるはずで、これまで身に付け2学期に磨く力が、志望校合格に導くのだと思います。ですから、この2学期は、夏休みの経験を活かし、これまで以上に自分に厳しく学力を向上させる時期にしていきたいです。生活面では、「時と場に応じた言動」をしっかりとることを意識していきます。集会や授業に臨む姿勢や挨拶など、深中生としての「構え」を、最上級生として、そして義務教育を修了する者としてのレベルで示していきたいです。2学期にある様々な行事を、「時と場に応じた言動」を身に付けた3年生の姿を示す場にしていききたいと思います。後輩たちをはじめとした周囲の目を意識した言動を示していくことは、自分たちを磨くことにつながります。一つ一つの行事に手を抜くことなく、クラスや学年で団結して取り組んでいきます。夏休みに試行錯誤して身に付けた力をその動力源として、一步一步着実に、最高学年としての歩みを進めていきたいと思っています。

